

学校教育課の目標（平成26年度）自己評価書

学校教育課長 池田 幸夫

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は 達成できなかった理由等
<p>1 児童生徒の個性を生かす教育と生き生きとした学校生活の創造</p> <p>(1) 創意ある教育課程の推進</p> <p>① 小中学校「新学習指導要領」実施に基づく教育活動の充実を図ります。</p> <p>② 少人数指導により、個に応じたきめ細かな指導を推進します。</p> <p>③ スクールボランティア等外部人材の活用を推進し、総合的な学習の充実を図ります。</p> <p>④ スクールサポート指導員を配置し、特色ある教育活動を支援します。</p> <p>⑤ 学校評議員を活用した学校評価の実施に取り組みます。</p> <p>⑥ 小学校「私たちの道徳」を道徳において活用を図ります。</p> <p>(2) 教育相談・生徒指導の充実</p> <p>① 「心の教育推進会議」を開催し、各学校における生徒指導の一層の充実と学校間の連携を図ります。</p> <p>② 適応指導教室（ふれあいルーム）の児童生徒の支援を図ります。</p> <p>(3) 人権・同和教育の推進</p> <p>① 担当者会議を開催し、教職員研修や各学校の実践の充実を図る。</p> <p>② 酒々井小学校、酒々井中学校を推進校として指定し、教職員の指導力の向上に取り組みます。</p> <p>③ 「小中学生人権作文集」や「酒々井町の人権・同和教育」を編集・刊行し、教職員、児童生徒、保護者の意識高揚に努めます。</p>	<p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校新学習指導要領については、指導内容の充実が順調に進められ、学力の定着につながりました。 ・算数・数学において少人数学習を行い、習熟度に応じたきめ細かな指導を行うことができました。 ・読書活動や昔遊び等において地域人材の活用が図られました。 ・教科指導、教育相談等の充実と活用が図られました。 ・学校行事、授業公開において学校評議員が積極的に参画し、学校運営の改善に助言等をいただき活用が図られました。 ・家庭においても活用されるようになってきました。いじめ問題の対応にも活用されています。 ・生徒指導、スクールカウンセラー、適応指導相談員と連携し、小中学校とも長欠率を縮減することができました。 ・小学生、中学生が通級し、学習支援・生活支援を行いました。学校と密に連絡を取り、復帰への足がかりとなりました。 ・担当者会議において、各学校の各学校の進捗状況を確認し、計画に則した研修を行うことができました。 ・人権集会活動を進める中で、人権・同和教育について考える場を積極的に取り入れました。 ・人権作文集を活用した人権学習を行い、保護者にも啓発することができました。

<p>④ ネットパトロールを実施し、インターネット掲示板等への誹謗中傷、書き込みを監視します。</p>	4	<p>・保小中連携推進協議会を定期的開催し、情報交換を行うことが大変有効であり、その後の課題解決につながりました。</p>
<p>(4) 保小中連携推進事業の充実</p>		
<p>① 「研究・研修部」「生徒指導部」を中心に児童生徒に係る課題を協議し、その改善に努めます。</p>	4	<p>・教科・領域における連携課題や共通課題が明らかになりました。児童生徒の実態や生活状況を把握するのに役立ちました。</p>
<p>② 「教科分科会」を中心に、小・中学校間の学習の継続性を推進します。</p>	4	<p>・学習の継続性や接続の円滑化が図られました。</p>
<p>③ 「小中連携指導5項目」を保護者・地域にも周知し、基本的な生活習慣の定着を図ります。</p>	5	<p>・挨拶運動は小中学校で年間を通して実施できましたが、清掃活動や自分の考えを話すことについてはまだ十分とはいえません。</p>
<p>(5) 特別支援教育の充実</p>		
<p>① 就学指導委員会を年3回開催し、将来の社会自立を見据えた就学指導を進めます。</p>	5	<p>・各委員の専門的な視点からの助言をもとに、児童生徒の実態に即した指導を行いました。</p>
<p>② 小学校に介助員を配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援を行います。</p>	4	<p>・担任と連携を取りながら有効な支援を行うことができました。</p>
<p>(6) 読書指導・図書館教育の充実</p>		
<p>① 町内3校の学校図書館の図書整備率80%に向け取り組んでいきます。</p>	4	<p>・整備率は徐々に上がっているため、さらに目標に向かって取り組むようにします。</p>
<p>② 町内3校に学校図書館アシスタントを配置し、図書館機能の充実と児童生徒の学習支援、公立図書館との連携を推進します。</p>	4	<p>・各校の学校図書アシスタントと定期的に情報交換・協議を行うことにより、支援・連携ができました。</p>
<p>(7) 健康・安全教育の充実</p>		
<p>① スクールアドバイザーを中心に、防犯ボランティア等関係機関と連携しながら、通学路の点検や安全マップ、防災マニュアルについての指導・助言を行います。</p>	5	<p>・各小学校で登下校の安全を積極的に実施するように指導・助言をしているので、意識は継続しています。</p>
<p>② 栄養教諭による食育授業や教室訪問などを行い、食育教育の充実に努めます。</p>	4	<p>・中学校において、栄養教諭による食育教育についての授業や給食時の学校訪問によって、望ましい食生活について指導を行い、食育教育の充実に努めました。</p>
<p>2 社会の変化に対応した学校教育の推進</p>		
<p>(1) 情報化・国際化に対応した学校教育の推進</p>		
<p>① 電子黒板やコンピュータなどのICT活用を推進し、教育的効果を高める工夫を講じます。</p>	3	<p>・小中学校とも電子黒板の活用はあまり図られていないので、学習における活用を検討する必要があります。</p>
<p>② ALTを活用し、外国語学習・国際理解教育の推進に努めます。</p>	4	<p>・小中学校の英語活動、英語科教育が充実してきました。</p>
<p>③ 国際化に対応できる人材育成を図るため、中学校の生徒海外に派遣し、ホームステイや体験活動を通して、「国際交流派遣事業」を実施していきます。</p>	5	<p>・商工会や町内事業所の協力を得て、小中学校とも職場体験の充実に努めました。</p>

<p>(2) キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア教育推進協議会」を設置し、職場体験学習など学校教育への組織的な支援を行います。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所や町内事業所の協力を得て、小中学校とも職場体験の充実が図れました。
<p>(3) 北海道陸別町児童交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課と連携し、小学生6年児童の体験的活動、自然とのふれあい活動の推進を積極的に推進します。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある教育支援事業では、各校教職員の工夫ある研究が見られましたが、内容に偏りがあるので指導していきます。
<p>3 教職員の資質や指導力の向上</p>		
<p>(1) 小中学校の校内研修に指導主事を派遣し、教職員の指導力の向上を図ります。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の要請を的確に受けることができました。
<p>4 教育条件の整備</p>		
<p>(1) 「豊かな心を育むCTSプラン」や「教職員の特色ある教育支援事業」を通して、各学校の特色ある教育を支援します。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・熱心に取り組んで教育効果を上げていますが、今後は講師の派遣や研修会への参加によって、技術の向上を目指していきます。
<p>(2) 町ふれあいタクシーを利用したスクールバスを運行し、酒々井小学校児童の交通手段を確保します。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に運行できています。
<p>(3) 特別支援学級在籍対象の「特別支援教育就学奨励費」や準要保護家庭対象の「就学援助費」を支給し、保護者の経済的負担軽減を図ります。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の支援になっています。生活の実態を把握して、公正な審査の上、支給の拡大を図ります。
<p>5 家庭との連携</p>		
<p>(1) 「家庭学習の手引き」を各家庭に配付し家庭教育の充実を図ります。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の意識は高まってきていますが、学力の向上に結びつくよう更なる意欲の向上を図っていきます。
<p>6 チャレンジ目標</p>		
<p>(1) 「家庭学習の手引き」のさらなる充実に取り組みます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の実態調査を実施し、意識の向上を図ります。
<p>(2) 順天堂大学との連携を推進し、学校支援ボランティアの整備とさらなる活用に取り組みます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・8名の学生ボランティアの登録があり、小学校の陸上練習等に熱心に取り組みます。
<p>(3) A L T活用を進め、英語活動及び英語科の充実に取り組み、国際理解教育を推進していきます。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・A L Tを活用して職員の研修を実施し、児童生徒の活動に反映することができました。
<p>(4) I C T活用を進め、情報化教育のさらなる充実に取り組みます。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションのツールとして使いこなせるようになることを目指しています。